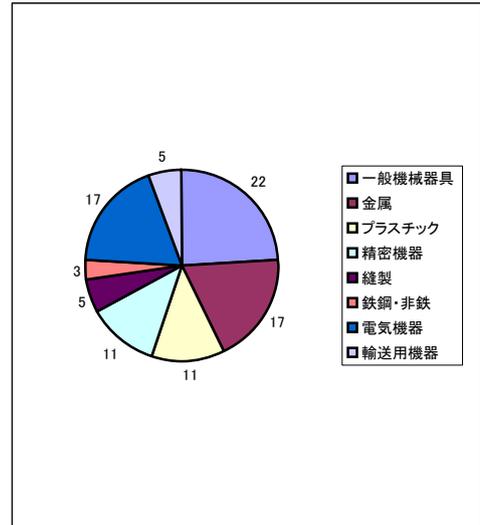


受注動向

- 調査時点 平成21年1月調査(20年12月末時点)
- 対象企業 150社
- 回答企業 91社(回答率:60.7%)
(一般機器22社、金属17社、プラスチック11社、精密機器11社、縫製5社、鉄鋼・非鉄3社、電気機器17社、輸送用機器5社)
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)

一般機械器具	22	21.6%
金属	17	16.7%
プラスチック	11	10.8%
精密機器	11	10.8%
縫製	5	4.9%
鉄鋼・非鉄	3	2.9%
電気機器	17	16.7%
輸送用機器	5	4.9%

91

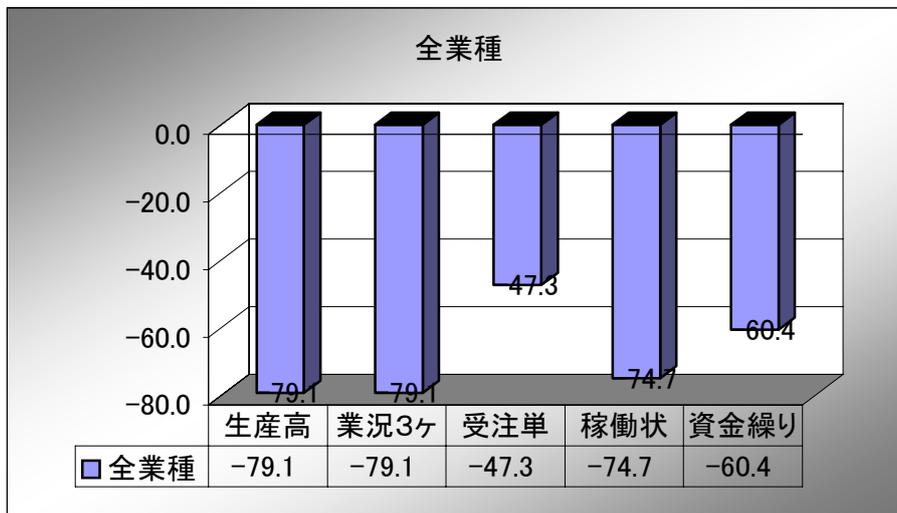


■ 全業種

生産高の対前年同月比は、▲79.1ポイント(前回▲39.3)と大幅な減産傾向で、稼働状況の対前年同月比は▲74.7ポイント(前回▲35.5)と大幅な悪化傾向である。

業況3ヶ月先見通しも、▲79.1ポイント(前回▲46.7)とさらに厳しい見通しで、受注単価の対前年同月比でも、▲47.3ポイント(前回▲32.7)と悪化傾向である。

資金繰りの対前年同月比でも、▲60.4ポイント(前回▲29.9)と大幅な悪化傾向である。



■ 生産高・稼働状況

生産高の対前年同月比は、「一般機械器具」▲68.2ポイント(同▲25.0)、「プラスチック」▲90.9ポイント(前回▲70.0)、「精密機器」▲100.0ポイント(前回▲16.7)、「鉄鋼・非鉄」▲100.0(前回▲33.3)、「電気機器」▲94.1(前回▲60.0)、「輸送用機器」▲80.0ポイント(前回▲42.9)といずれの業種も大幅な減産傾向である。

稼働状況の対前年同月比は「一般機械器具」▲68.2ポイント(前回▲33.3)、「金属」▲70.6ポイント(前回▲45.5)、「プラスチック」▲81.8ポイント(前回▲50.0)、「精密機器」▲90.9ポイント(前回▲33.3)、「鉄鋼・非鉄」▲100.0ポイント(前回▲33.3)、「電気機器」▲82.4ポイント(前回▲60.0)、「輸送用機器」▲80.0ポイント(前回▲14.3)でいずれも大幅な悪化傾向。

■ 受注単価・資金繰り

受注単価の対前年同月比は、「プラスチック」▲45.5ポイント(前回▲60.0)と改善傾向。「鉄鋼・非鉄」▲33.3ポイント(前回16.7)は大幅な悪化傾向。一方、「精密機械」▲63.6ポイント(前回▲58.3)、「電気機器」▲47.1ポイント(前回▲43.5)、「輸送機器」0.0(前回0.0)はほぼ横ばい傾向である。

資金繰りの対前年同月比は「一般機械器具」▲40.9ポイント(前回▲25.0)、「プラスチック」▲72.7ポイント(前回▲60.0)、「精密機器」▲72.7ポイント(前回▲8.3)、「電気機器」▲64.7(▲30.0)、「輸送用機器」▲40.0ポイント(前回0.0)はいずれも大幅な悪化傾向である

■ 3ヶ月先見通し

業況3ヶ月先見通しは、「一般機械器具」▲90.9ポイント(同▲33.3)、「プラスチック」▲81.8ポイント(同▲50.0)、「精密機器」▲63.6ポイント(前回0.0)、「鉄鋼・非鉄」▲66.7ポイント(同▲33.3)、「電気機器」▲70.6ポイント(同▲50.0)、「輸送用機器」は▲100.0ポイント(同▲14.3)でいずれの業種も大幅な悪化傾向。

